

## 令和元年度 第3回油化学セミナー

### 若手研究者による油脂、界面の最前線 — 関東支部 第7回若手研究者奨励賞記念講演会 —

日本油化学会関東支部では、日本油化学会年会で若手研究者により発表された研究の中から、秀逸と考えられるものを関東支部幹事の投票で選出しています。そして、選出した研究の発表者に対して若手研究者奨励賞を授与し、併せて受賞講演をお願いしています。本年も厳正な審査の結果、4名の研究者が選出され、このたび関東支部若手研究者奨励賞記念講演会を開催する運びとなりました。未来に羽ばたく若手研究者の講演を是非お聞きください。

日 時：令和2年1月24日（金）13:00～16:45（受付開始12:30～）  
会 場：油脂工業会館9階大会議室（〒103-0027 東京都中央区日本橋3-13-11）  
主 催：公益社団法人日本油化学会関東支部  
協 賛：公益社団法人日本栄養食糧学会、日本化粧品学会

#### プログラム

13:00～13:05 開会の辞

13:05～13:55

1. 「化粧品製剤における、製剤安定化と感触設計について」

ポーラ化成工業株式会社 横浜研究所 製品設計開発部 松尾 一貴氏

化粧品は、お客様が毎日使い続けてもらえるここちのよい感触や、効果感を感じられることが重要です。本講演では、私が体験した失敗や成功例を交えながら、現場の最前線での化粧品における製剤開発について発表します。

13:55～14:45

2. 「環境調和型界面活性剤 MES の液体洗剤への応用」

ライオン株式会社 研究開発本部 先進解析科学研究所 森垣 篤典氏

植物由来のアニオン性界面活性剤 MES は衣料用液体洗剤として高い皮脂洗浄力を示します。本講演では、油／水界面に着目した洗浄機構と、クラフト点を低下させ液体洗剤に MES 活用を可能にした例について紹介します。

（休憩 14:45～15:00）

15:00～15:50

3. 「脂肪酸または酸化脂肪酸によって誘導される細胞死に関する研究」

成蹊大学 理工学部 物質生命理工学科 井内 勝哉氏

不飽和脂肪酸は種々の疾患を予防する効果を有しますが、細胞に対する正確な作用機構は未解明です。本研究では、脂肪酸や酸化脂肪酸で処理した培養細胞を用いて、細胞生存または死への運命を決定する機構を解析した結果について発表します。

15:50～16:40

4. 「アポカロテノイドの調製と細胞機能に関する研究」

北海道大学大学院 水産科学院 高谷 直己氏

アスタキサンチンを始めとした種々のカロテノイドからのアポカロテノイド調製法と、細胞アッセイを通して明らかになってきた構造特徴的な抗炎症活性や抗酸化酵素発現促進作用等とその分子機構について紹介します。

16:40～16:45 閉会の辞

17:15～19:15 懇親会

**参加費（テキスト代を含む）**：当日受付にてお支払いください

日本油化学会正会員・法人会員勤務者・協賛学会個人会員：5,000 円、  
一般：7,000 円、学生：1,000 円

**懇親会**：3,500 円

**申込方法**：日本油化学会関東支部ホームページからお申し込みください。

【日本油化学会関東支部ホームページ油化学セミナー申込フォーム】

セミナー申し込み URL

<https://jocs.jp/oil-multi/kantosibu/申込フォーム/>

QR コード



（見つからないときは、“日本油化学会関東支部セミナー”で検索してください。）

**申込締切**：令和2年1月20日（月）

以上